

学生の「主体的な学び」を促すチャレンジ

◆開催日時◆

9月28日(土)13:00~18:00 情報交換会18:30~

◆会場◆(右の地図をご参照ください)

愛知学院大学 楠元キャンパス 薬学部棟202教室

(名古屋市営地下鉄東山線・名城線「本山」駅より徒歩5分)



◆開催に向けた思い◆

「学生に対する思いや願い」「授業に対するこだわり」などをお持ちの先生方が、経歴、専門分野、授業内容、向き合う学生、それらの違いを超え、ざっばらんに語っていただきたいとの思いで開催いたします。話題提供していただく先生もいらっしゃいますが、その内容だけにとらわれることなく、触発されて出てきた先生方のワクワク感、嬉しかったこと、またお悩み、学生さんのお話などを、話したいだけお話ししていただけるような場になればと思っております。お忙しい折とは存じますが、是非お越しいただき、充実した時間を過ごしていただければ幸いです。

◆プログラム予定◆

13:00	開会の挨拶 発起人 名城大学 人間学部 池田輝政氏 会場校挨拶 愛知学院大学 教養部 八谷芳樹先生(予定)
13:10	実習「あなたの学習スタイル」「記者会見」
15:00	話題提供 【話題提供者】岡山理科大学 工学部学部長 滝澤 昇氏
<p>【内容】タイトル:学生の「主体的な授業外学習」へのチャレンジ。 いかに授業外学習を促して、学生の「学びの習慣」の獲得を支援するか?学習システムを使用した授業前準備、授業中のグループディスカッション、授業後のレポート運用などご自身の現在の取組と手応えをお話いただけます。</p> <p>【プロフィール】 大阪市出身。専門は微生物工学、遺伝子工学。工学博士。地域における一般市民や子どもたちの科学技術に対する興味・関心を高める取組をする学生(科学ボランティアリーダー)を養成する「科学ボランティアセンター」を発足に関わり、現在も運営に携わっている(2008年発足時よりセンター代表。2011年4月~2012年3月は同所長)。自らも科学教育ボランティアとして活躍中。大学教育関連の集会や研究会にも積極的にご参加されている。</p>	
15:55	話題提供をふまえてグループでふりかえり、全体共有
17:50	閉会の挨拶 (18:00終了)

発起人：名城大学 人間学部 池田 輝政先生

【プロフィール】専門は高等教育経営学、教育学。九州大学大学院教育学研究科博士課程満期退学。教育職員の高度化を目的とする大学院(大学・学校づくり研究科)を立ち上げ、国公私立の大学教員のための授業開発研修会、大学および初等・中等学校の指導層への戦略開発研修会に赴くなど、教育と経営の両分野の課題解決に向けて指導とコンサルティング活動を行う。国立大学協会大学評価専門委員ほかを歴任。著書に『成長するティップス先生—授業デザインのための秘訣集』(戸田山和久・近田政博・中井俊樹と共著)など



その他会場でも教育サロンを予定しています。ぜひご参加ください。(詳細はお問い合わせください)

福岡	日程: 8月31日(金)	場所: 福岡大学	時間: 12:00~18:00(予定)
大阪	日程: 9月1日(土)	場所: 大手前大学	時間: 13:00~18:00(予定)
東京	日程: 9月6日(金)	場所: 大東文化大学	時間: 13:00~18:00(予定)

■参加費 無料 (情報交換会のみ 会費制を予定しております ※会費未定)

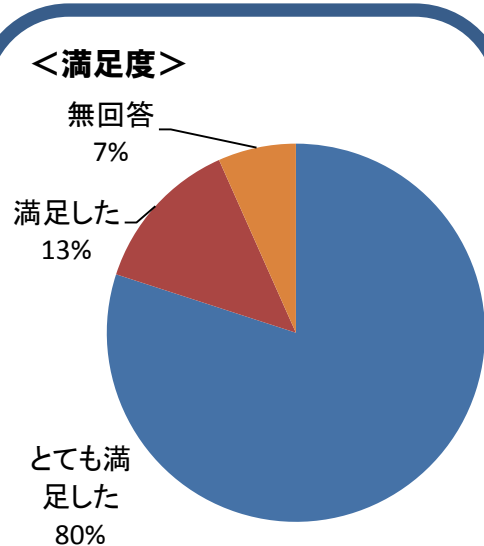
【お申し込み・お問い合わせ】 ご所属(大学名・学部/部署名・役職名)、お名前、ご連絡先(メールアドレス・電話番号)、情報交換会参加の有無を明記のうえ、下記メールアドレスまでお申込みください。お問い合わせは電話でも受け付けております。

プログラム内容

会場:名古屋学院大学

13:00	開会の挨拶 発起人 名城大学 人間学部 池田輝政氏 話題提供者の挨拶 大手前大学 現代社会学部現代社会学科 本田直也氏
13:10	実習「あなたの学習スタイル」「記者会見」
15:05	話題提供、質疑応答
話題提供者:大手前大学 現代社会学部現代社会学科 本田直也氏 【内容】2年次の後期まで、全学部共通のキャリアデザイン科目(I~IV)を実施している大手前大学。その科目責任者としての想いや取り組み、チャレンジした中での考察などを包み隠さず、ざっくばらんにお話いただきました。	
16:00	分かち合い・グループ討議・全体共有
17:15	閉会の挨拶 (17:30終了)

アンケートより



とても満足した	12名
満足した	2名
どちらともいえない	0名
あまり満足しなかった	0名
あまり満足しなかった	0名
無回答	1名

※サロン参加者21名
うちアンケート記入者15名

<フリーコメント>

【学習スタイルや記者会見を体験して】

- ☆実際に体験でき、自分の演習の授業のアイスブレイクやファシリテーションの仕方に大きなヒントになりました。
- ☆よい意味でリラックスでき、よい意味で緊張できた。
- ☆新鮮な学習スタイルでした。学生に試したいと思う。
- ☆記者会見は「アイスブレイキング」としても参加者の「バックグラウンド」を知る上でも有効でした。「学習スタイル」の結果(自分自身の)に不満です(笑)
- ☆同じ方向を向いた人にたくさん出会えた気がして、とても有意義でした
- ☆フランクな雰囲気の中、話しやすい環境だと感じました。
- ☆「学習スタイル」はまず、個人的に興味深かった。自分ではまったく自覚していなかったが、言われてみればそうかもしれないというような発見があった。授業で行えば学生にも同じような効果が期待できるような気がする

【本田先生の話題提供から感じたこと】

- ☆学生の書いたものを添削して返す。学生の成長過程を記録するなど大変な作業だが、これを励行していることに敬服しました。
- ☆学生側は「自由」を求めるかも知れませんが、一定のレベルを上げるためには(厳しさは)必要だと感じます。ただ、運営する側の意志が強くないと続けられないと素直に思いました。
- ☆本務校でも似たようなカリキュラムはあるが、多くの点で進歩的な取り組み内容で、大変啓発的だった。本田先生の情熱には脱帽だが、制度的な変革に依り、教育の負担がもう少し軽減されないか、と言うのが正直な感想。

【グループディスカッションと情報共有について】

- ☆関心のある教育について話題ですから、各々が自由に議論を始めると、いつまでも話が続けて楽しく過ごせました。
- ☆教育の個別性、それを支える「個人のキャリア意識の情報」、そしてそれを手助けする教員の「ゆるさ」と「厳しさ(たとえば知的誠実性)」と「熱意」などの大切さを改めて自覚できた。
- ☆面白かった。いろいろな視点が聞けたが、その裏には教育・学生への熱いものを感じることができた。
- ☆掘り下げた話し合いができてうれしく思いもつと続けたい気分でした。